

令和7年度（国語）科シラバス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	現代の国語	単位数	2 単位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	新編現代の国語（東京書籍）			副教材等	学習プリント等

1 学習の到達目標

- 国語に対する興味や関心を高めます。
- 国語の表記法や語句・漢字等の学習を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。
- 自己を表現する力、相手の意見を理解する力を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	1 自己を見つめる こそめスープ	筆者の考える「自分の作りあげた異世界」について考え、他者を尊敬する態度を養います。 「好きなことがあること」がなぜ大切なのか考えます。	○ノート提出 ○小テスト	1 学期中間考查
	5	ルリボシカミキリの青			
	6	2 他者に出会う 未来をつくる想像力	情報があふれている現代において、メディアとどう付き合うべきか考えます。	○ノート提出 ○小テスト	
7	水の東西	西洋文化と東洋文化を比較した文章を読むことを通して対象を多角的に見る態度を身に付けます。			
2 学期	8	4 視野を広げる	新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げます。	○ノート提出 ○小テスト	2 学期中間考查
	9	スキマが育む都市の緑と 生命のつながり			
	10	5 無彩の色 社会と関わる 鍋洗いの日々	自分の道を切り開いた筆者の体験談から仕事に対する思いを読み取ります。	○ノート提出 ○小テスト	
	11	森で染める人	筆者の思いを読み取ったうえでどのような気持ちで働くことが大切なのか考えます。		
12	6 言葉と生活 2			2 学期末考查	
3 学期	1	7 世界とつながる 美しさの発見	文章の展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解します。	○ノート提出 ○小テスト	学年末考查
	2	8 未来に目を向ける 真の自立とは	筆者の主張する「自立」について読み取り、「自立」の在り方について自分の考えを深めます。		
	3				
評価方法等	学習意欲、提出物の状況、小テスト、各学期の定期考查の成績により、学習の到達度を評価します。また、1学期から3学期までの評価を総合して、学年の評価とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	○漢字や語句等の学習を通して、基礎的・基本的な事項の理解を深めることができたか。 ○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができたか。 ○語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し話や文章の中で使うことができたか。 ○言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できたか。
思考・判断・表現	○文章の内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え、要旨や要点を把握できたか。 ○自分の考えをまとめたり、深めたりできたか。 ○目的・場面・対象に応じて筋道を立てて話すことができたか。 ○相手の意見を的確に聞き取ることができたか。
主体的に学習に取り組む態度	○国語や言語に興味を持ち、意欲的に学習活動に参加したか。 ○言葉を大切にし、進んで表現したり、理解しようとしたか。 ○授業に積極的に参加したか。

3 授業を受ける上での注意点

国語の授業は1時間完結のものではありません。欠席することによって授業の流れがわからなくなることがあります。欠席・遅刻・早退をしないようにしてください。授業には準備万端で臨んでください。ただ単に席に座ってノートをとるだけでなく、先生の話を中心して聞き、考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (国語) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	言語文化	単位数	2 単位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 新編 言語文化			副 教 材 等	学習プリント等

1 学習の到達目標

<p>○国語に対する興味や関心を高めます。</p> <p>○国語の表記法や語句・漢字等の学習を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。</p> <p>○論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにします。</p>

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	近現代 小説を読む (一) よるこびの歌	作品に表れているものの見方、 感じ方、考え方を捉え、内容を 解釈します。	○ノート提出 ○小テスト	1 学期中間 考查
	5	詩の楽しみ 道程 I was born	近代詩の表現の技法とその効果 について学びます。		
	6 7	古文 古文入門 鳩と蟻のこと	話の内容を押さえながら、古文 特有の仮名遣いと言葉に慣れま す。 主として歴史的仮名遣いについ て、文語の決まりを学びます。	○ノート提出 ○小テスト ○音読テスト	1 学期末 考查
2 学期	8 9	近現代 小説を読む (二) 羅生門	登場人物の行動や心理を粘り 強く読み解き、内容や展開を捉え ます。	○ノート提出 ○小テスト	2 学期中間 考查
	10	短歌と俳句 大切な言葉 手毬唄	短歌・俳句の形式や表現を理解 します。作品に表れている情景 や心情を鑑賞します。		
	11 12	古文 物語を楽しむ 伊勢物語 筒井筒 随筆を読む 徒然草	歌物語という文章の種類を踏ま えて内容や展開を的確に捉えま す。 作品に表れているものの見方や 考え方について考察します。	○ノート提出 ○小テスト ○音読テスト	2 学期末 考查
3 学期	1 2 3	近現代 小説を読む (三) よだかの星 漢文 漢文入門 故事成語	作品に含まれる寓意を理解し、 主人公の心理や行動をもとに、人 間の生き方を考えます。 訓読のきまりを学びます。 漢文が日本の言語文化と不可分 の関係であることを確認します。	○ノート提出 ○小テスト ○音読テスト	学 年 末 考 査
	評価方法等 学習意欲、提出物の状況、小テスト、各学期の定期考查の成績により、学習の到達度を評価します。また、 1学期から3学期までの評価を総合して、学年の評価とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	○漢字や語句等の学習を通して、基礎的・基本的な事項の理解を深めることができたか。 ○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができたか。 ○語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し話や文章の中で使うことができたか。 ○言語文化に対する理解を深めることができたか。
思考・判断・表現	○文章を読んで、深く共感したり豊かに想像したりすることができたか。 ○自分の考えをまとめたり、深めたりできたか。
主体的に学習に 取り組む態度	○国語や言語に興味を持ち、意欲的に学習活動に参加したか。 ○言葉を大切にし、進んで表現したり、理解しようとしたか。 ○授業に積極的に参加したか。

3 授業を受ける上での注意点

国語の授業は1時間完結のものではありません。欠席することによって授業の流れがわからなくなることがあります。欠席・遅刻・早退をしないようにしてください。授業には準備万端で臨んでください。ただ単に席に座ってノートをとるだけでなく、先生の話を中心して聞き、考える態度を身に付けましょう。
--

令和7年度（国語）科シラバス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	論理国語	単位数	3 単位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	新編論理国語（東京書籍）			副教材等	学習プリント等

1 学習の到達目標

<p>○国語に対する興味や関心を高めます。</p> <p>○国語の表記法や語句・漢字等の学習を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。</p> <p>○自己を表現する力、相手の意見を理解する力を高めます。</p>

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	I 部 1 広がる風景	「対話」と「おしゃべり」の違いについて考え、コミュニケーションの在り方について考えます。論理の展開に注意しながら読む態度を身に付けます。	○ノート提出 ○小テスト	1 学期中間考查
	5	対話とは何か 世界をつくり替えるために			
	6	2 考える手がかり 「ふしぎ」ということ	「あたりまえ」と感じていることについて改めて考えます。筆者の考えを理解した上で、学ぶことの意義を考えます。思考においてたいせつなことは何かを読み取ります。	○ノート提出 ○小テスト	1 学期末考查
	7	3 人間と知性 学ぶことと人間の知恵 4 現実の中で 思考の肺活量			
2 学期	8	5 ものの見方	問題提起とそれに対する主張を読み取ります。楽しく働くということはどういうことが考えます。	○ノート提出 ○小テスト	2 学期中間考查
	9	弱肉強食は事前の摂理か			
	10	6 働くよろこび 楽に働くこと、楽しくはたらくこと II 部 1 時代をひらく 最初のペンギン	本文の内容を踏まえ、自分の生き方について考えます。	○ノート提出 ○小テスト	2 学期末考查
	11	2 新しい視点から カフェの開店準備	自分の日常生活の在り方について考えます。		
12	3 科学と人間 鏡としてのアンドロイド 4 豊かな認識 言葉は「ものの名前」ではない	アンドロイドの研究について理解し、何かを作ることについて考えます。			
3 学期	1	5 知のゆくえ 知識における作者性と構造的性	ネット情報と本の違いについて考えます。	○ノート提出 ○小テスト	学年末考查
	2	6 明日をみつめて ホンモノのおカネの作り方	経済や貨幣に関する文章を読み、知識を広げます。		
	3	未来のありか	具体例や資料を的確に読み取る態度を養います。		
評価方法等	学習意欲、提出物の状況、小テスト、各学期の定期考查の成績により、学習の到達度を評価します。また、1 学期から 3 学期までの評価を総合して、学年の評価とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<p>○漢字や語句等の学習を通して、基礎的・基本的な事項の理解を深めることができたか。</p> <p>○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができたか。</p> <p>○語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し話や文章の中で使うことができたか。</p> <p>○文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解できたか。</p>
思考・判断・表現	<p>○文章の内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え、要旨や要点を把握できたか。</p> <p>○文章の内容や解釈を異なる価値観を結び付けて自分の考えを広げたり深めたりできたか。</p> <p>○目的・場面・対象に応じて筋道を立てて話すことができたか。</p> <p>○相手の意見を的確に聞き取ることができたか。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○国語や言語に興味を持ち、意欲的に学習活動に参加したか。</p> <p>○言葉を大切にし、進んで表現したり、理解しようとしたか。</p> <p>○授業に積極的に参加したか。</p>

3 授業を受ける上での注意点

<p>国語の授業は1時間完結のものではありません。欠席することによって授業の流れがわからなくなることがあります。欠席・遅刻・早退をしないようにしてください。授業には準備万端で臨んでください。ただ単に席に座ってノートをとるだけでなく、先生の話を中心して聞き、考える態度を身に付けましょう。</p>

令和 7 年 度 (国語) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	国語演習	単位数	2 単位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	新総合 図説国語 (東京書籍)			副 教 材 等	学習プリント等

1 学習の到達目標

- 国語に対する興味や関心を高めます。
- 国語の表記法や語句・漢字等の学習を通して、基礎的・基本的な知識を身に付けます。
- 自己を表現する力、相手の意見を理解する力を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	漢字・語句 1 書き取り 同音異義語 同訓異義語 書き誤りやすい語 難読語	同音異義語や同君異義語の使い分けを理解し、語彙力を高めます。	○ノート提出 ○小テスト	
	5				
	6	2 熟語 三字熟語・四字熟語 対義語・類義語	四字熟語やことわざ、故事成語の意味を調べます。	○ノート提出 ○小テスト	
7	3 ことわざ 慣用句 故事成語	故事成語の由来を調べ言葉に対する関心を高めます。			
2 学期	8	表現 1 文章の種類 記録・報告文 レポート	いろいろな種類の文章の書き方を学びます。	○ノート提出 ○小テスト	
	9				
	10	2 作文 原稿用紙の使い方 課題作文	原稿用紙の使い方を学びます。 作文を作成します。		
	11	3 敬語 敬語の種類 実践問題	敬語の種類を学びます。	○ノート提出 ○小テスト	
12	4 手紙の書き方	お礼状や年賀状の書き方を学びます。			
3 学期	1	文学史 1 近現代文学 小説 詩 短歌 俳句	近現代に文学史について学びます。 いろいろなジャンルの作品に触れ、文学に対する関心を高めます。	○ノート提出 ○小テスト	学年末 考查
	2				
	3				
評価方法等	学習意欲、提出物の状況、小テスト、各学期の定期考查の成績により、学習の到達度を評価します。また、1学期から3学期までの評価を総合して、学年の評価とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	○漢字や語句等の学習を通して、基礎的・基本的な事項の理解を深めることができたか。 ○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができたか。 ○語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し話や文章の中で使うことができたか。 ○言語文化に対する理解を深めることができたか。
思考・判断・表現	○文章を読んで、深く共感したり豊かに想像したりすることができたか。 ○自分の考えをまとめたり、深めたりできたか。
主体的に学習に取り組む態度	○国語や言語に興味を持ち、意欲的に学習活動に参加したか。 ○言葉を大切にし、進んで表現したり、理解しようとしたか。 ○授業に積極的に参加したか。

3 授業を受ける上での注意点

国語の授業は1時間完結のものではありません。欠席することによって授業の流れがわからなくなることがあります。欠席・遅刻・早退をしないようにしてください。授業には準備万端で臨んでください。ただ単に席に座ってノートをとるだけでなく、先生の話を中心して聞き、考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (国語) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	文学国語	単位数	3 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 標準文学国語 (第一学習社)			副 教 材 等	学習プリント等

1 学習の到達目標

- 国語に対する興味や関心を高めます。
- 国語の表記法や語句・漢字等の学習を通して、基礎的・基本的な知識を身に付けます。
- 自己を表現する力、相手の意見を理解する力を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学 期	4	第Ⅰ部 現代の小説 (一) 調律師のみ子さん	短編小説の読解を通じて、小説を読む基礎力を身に付けます。細部に注目する重要性を意識し今後の読解に応用します。	○ノート提出 ○小テスト	1 学期中間考查
	5	現代の詩 生命は そこにひとつの席が	各連の内容をつかみ、連ごとの展開を理解します。繰り返し音読して、リズムの特徴を考えます。		
	6	食事	主人公の人物像や心理の変化を読み取ります。自己に引きつけて読み、人間心理や人間関係について考えます。	○ノート提出 ○小テスト	1 学期末考查
7	近代の小説 (一) 鼻				
2 学 期	8	第Ⅱ部	内容や構成、展開、場面設定や描写のしかた、表現の特色などを考えます。	○ノート提出 ○小テスト	2 学期中間考查
	9	近代の小説 (二) 山月記			
	10	近代の詩 こころ	繰り返し音読し、ひらがなや和語の効果を考えます。		
	11	汚れつちまつた悲しみに… 永訣の朝	詩に込められた作者の思いを読み取ります。	○ノート提出 ○小テスト	2 学期末考查
12	現代の小説 (四) 卒業	題名の「卒業」の意味をとらえ自分の今後の生き方について考えます。			
3 学 期	1	ひよこの眼	語り手の視点を意識し、作者の表現の特徴を考えます。登場人物の心理や行動を読み解き、自分の問題として考えます。	○ノート提出 ○小テスト	学年末考查
	2				
	3				
評価方法等		学習意欲、提出物の状況、小テスト、各学期の定期考查の成績により、学習の到達度を評価します。また、1学期から3学期までの評価を総合して、学年の評価とします。			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	○漢字や語句等の学習を通して、基礎的・基本的な事項の理解を深めることができたか。 ○実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができたか。 ○語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し話や文章の中で使うことができたか。 ○言語文化に対する理解を深めることができたか。
思考・判断・表現	○文章を読んで、深く共感したり豊かに想像したりすることができたか。 ○自分の考えをまとめたり、深めたりできたか。
主体的に学習に取り組む態度	○国語や言語に興味を持ち、意欲的に学習活動に参加したか。 ○言葉を大切にし、進んで表現したり、理解しようとしたか。 ○授業に積極的に参加したか。

3 授業を受ける上での注意点

国語の授業は1時間完結のものではありません。欠席することによって授業の流れがわからなくなることがあります。欠席・遅刻・早退をしないようにしてください。授業には準備万端で臨んでください。ただ単に席に座ってノートをとるだけでなく、先生の話を中心して聞き、考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (公 民) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	公共	単位数	2 単位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 新公共 (第一学習社)			副 教 材 等	自作教材プリント

1 学習の到達目標

- 1 教科書・副教材が「読める」、その内容が「わかる」、わからなければ「質問する」姿勢を養います。
- 2 現代社会の現状や自分自身を理解する学習を通じて、基本的・基礎的な知識を身に付け、考える力を育成します。
- 3 現代の社会情勢や政治・経済に対する関心を高め、社会における課題を自ら見出し、解決する能力を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第 1 編 公共の扉 第 1 章 公共的な空間をつくる私たち	現代に生きる私たちの身の回りで起きている様々な問題について考察を深め、諸問題に対してどのように取り組むべきか、論理的に考えた自らの意見を表現できるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	1 学期中間考查
	5				
	6	第 2 章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	青年期の心理的特徴を理解し、人生の意義や宗教成立の過程、日本の伝統文化などを探究します。 日本国憲法の原理を理解し、基本的人権を尊重する姿勢を身に付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	1 学期末考查
7	第 3 章 公共的な空間における基本的原理				
2 学期	8	第 2 編 自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち 第 1 章 法的な主体となる私たち	民主主義の原理の基づく日本の法治国家体制を正しく理解し、現代の政治的課題について考察し、法のもつ意味と、主権者としての意義について考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	2 学期中間考查
	9				
	10	第 2 章 政治的な主体となる私たち	我々が政治に参加する意義と、国家という存在と国際社会に関係、安全保障について理解します。 企業・市場経済・金融などの経済的知識と日本経済の変遷を理解し、今後について考察します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	2 学期末考查
11	第 3 章 経済的な主体となる私たち				
3 学期	1	第 3 編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	グローバル化・ボーダレス化の進んだ社会について、ケーススタディを通してさまざまな観点から考察を深め、現代の諸問題に対して自分自身がどうあるべきかを考え、表現できるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	学年末考查
	2				
	3				
評価方法等		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の積極性や、現代社会の政治的・経済的な知識・理解によって評価します。 ・学習内容をもとにして、広い視野に立って主体的に判断できるようになったかを評価します。 			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、それを自らの知識として定着させているかを重視します。 ・学習した事柄について、自分なりに整理・考察し、認識を深めているかを重視します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じて得た知識を、適切な方法で表現できているかを重視します。 ・学習した事柄について、主体的に公正な判断ができているかを重視します。 ・与えられた資料等を読みこなし、理解・考察ができているかを重視します。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の現状に対する関心を高め、社会的課題を意欲的に探究しているかを重視します。 ・平和で民主的な社会の実現に向けて、自らが参加・協力する態度を身に付けているかを重視します。

3 授業を受ける上での注意点

- ・授業に臨むにあたって、教科書の地図や写真などの資料を活用すると、より授業内容が身に付きます。
- ・授業中の教員やクラスメイトの話をよく聞き、メモを取ったり、そこから考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (地 理 ・ 歴 史) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	歴史総合	単位数	3 単 位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	歴史総合 (実教出版)			副 教 材 等	自作教材プリント

1 学習の到達目標

- 1 教科書・副教材が「読める」、その内容が「わかる」、わからなければ「質問する」姿勢を養います。
- 2 日本および世界の歴史を理解する学習を通じて、基礎的・基本的な歴史的知識を身に付けます。
- 3 日本および世界の歴史から学んだことを生かし、現代の諸課題への関心・意欲を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第1章 近代化への胎動	16世紀から18世紀の世界を、諸地域間との交流、及びそれぞれの変容を通じて、世界の一体化への動きと、それに対応する日本の動きを把握できるように学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	1 学期中間考查
	5	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」			
	6	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	欧米各国における国民国家の形成と、日本の明治維新による近代国家の形成、その後の欧米列強による植民地獲得競争と帝国主義の進展について、その要因を考察します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	1 学期末考查
7	第4章 帝国主義の時代				
2 学期	8	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制、社会主義の進展と、アメリカの繁栄と日本における大衆文化の発展などについて学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	2 学期中間考查
	9				
3 学期	10	第6章 経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌による経済的混乱と、その後のファシズムの進展の関係について考察し、第二次世界大戦に至った経緯、大戦後の世界について学習します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	2 学期末考查
	11				
3 学期	12	第7章 冷戦と脱植民地化	大戦後の東西冷戦と、脱植民地化による多極化の進展、さらにグローバル化が進行する現代社会の情勢について学習し、これからの世界と日本の関係性について考察を深めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	学年末考查
	1				
	2				
3 学期	3	第8章 多極化する世界			
	3	第9章 グローバル化と現代社会			
評価方法等		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の積極性や、歴史への知識・理解によって評価します。 ・学校生活全体で、歴史的事象に基づく広い視野にたった言動が取れるようになったかを評価します。 			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、それを自らの知識として定着させているかを重視します。 ・学習した事柄について、自分なりに整理・考察し、認識を深めているかを重視します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じて得た知識を、適切な方法で表現できているかを重視します。 ・地図や年表・写真などの資料を通じて、世界の歴史や人物に関する情報を読み取り、説明したり表現しようとするかを重視します。 ・学習した事柄について、公正な判断ができているかを重視します。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域や人物の歴史を、自分との関わりの中で考えようとする意欲があるかを重視します。 ・世界や日本の歴史に対する関心を高め、自ら主体的・自律的に取り組む態度が身についたかを重視します。

3 授業を受ける上での注意点

- ・授業に臨むにあたって、教科書の地図や写真などの資料を活用すると、より授業内容が身に付きます。
- ・授業中の教員やクラスメイトの話をよく聞き、メモを取ったり、そこから考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (地 理 ・ 歴 史) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	地理総合	単位数	2 単 位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	地理総合 (実教出版)			副 教 材 等	自作教材プリント

1 学習の到達目標

- 1 教科書・副教材が「読める」、その内容が「わかる」、わからなければ「質問する」姿勢を養います。
- 2 日本および世界の地理を理解する学習を通じて、基礎的・基本的な地理的知識を身に付けます。
- 3 日本および世界の地理から学んだことを生かし、現代の諸課題への関心・意欲を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第 1 編 地図や地理情報システム でとらえる現代世界	様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解するとともに、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて、多面的・多角的に考察し、表現します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	1 学期中間考查
	5				
	6	第 2 編 国際理解と国際協力 第 1 章 生活文化の多様性 と国際理解	世界の特色ある生活文化から、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、また与えたりして多様性をもつこと、また地理的環境の変化によって変容することなどについて考察します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	1 学期末考查
	7				
2 学期	8		自他の文化を尊重し、国際理解を図ることの重要性などについて理解を深め、世界の人々の生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	2 学期中間考查
	9				
	10	第 2 章 地球的課題と国際協力	地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について理解し、その解決に向けた各国の取組や国際協力について考察します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	2 学期末考查
	11				
3 学期	12	第 3 編 持続可能な地域づくり と私たち	地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりを理解し、様々な自然災害に対応したハザードマップ等各種の地理情報について、その情報を収集して読み取り、考察を深め、適切な行動をとることができる地理的技能を身に付けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用いた作業学習 ・宿題(復習プリント) 	学年末考查
	1				
	2				
	3				
評価方法等		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の積極性や、地理的な知識・理解の状況によって評価します。 ・学校生活全体で、地理的事象に基づく広い視野にたった言動が取れるようになったかを評価します。 			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、それを自らの知識として定着させているかを重視します。 ・学習した事柄について、自分なりに整理・考察し、認識を深めているかを重視します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じて得た知識を、適切な方法で表現できているかを重視します。 ・地図や写真などの資料を通じて、世界の気候や地理的特色に関する情報を読み取り、説明したり表現しようとするかを重視します。 ・学習した事柄について、公正な判断ができているかを重視します。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域や各国の地理を、自分との関わりの中で考えようとする意欲があるかを重視します。 ・世界や日本の地理に対する関心を高め、自ら主体的・自律的に取り組む態度が身についたかを重視します。

3 授業を受ける上での注意点

- ・授業に臨むにあたって、教科書の地図や写真などの資料を活用すると、より授業内容が身に付きます。
- ・タブレット PC を活用して、インターネットで自発的にホームページ等を閲覧したりするとより理解が深まります。
- ・授業中の教員やクラスメイトの話をよく聞き、メモを取ったり、そこから考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (地 理 ・ 歴 史) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	日本史探究	単位数	3 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校日本史探究(第一学習社)			副 教 材 等	自作教材プリント

1 学習の到達目標

- 1 教科書・副教材が「読める」、その内容が「わかる」、わからなければ「質問する」姿勢を養います。
- 2 日本の歴史を理解する学習を通じて、基礎的・基本的な歴史的知識を身に付けます。
- 3 日本の歴史から学んだことを、将来の自らの生き方や社会の在り方に生かす能力を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第 1 章 原始・古代の日本 と東アジア	原始及び古代の日本と東アジア 地域の関係性や、その後の日本国 内の政治的・文化的発展への東ア ジア世界からの影響について理解 を深め、その後の日本独自の政治 的・文化的な変容と歴史的展開に ついて考察します。	・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用い た作業学習 ・宿題(復習プリント)	1 学期中間考查
	5	ヤマト政権と律令国家の形成 律令国家の変容 第 2 章 中世の日本と世界 中世への転換 鎌倉幕府の展開			
	6	室町幕府の展開 第 3 章 近世の日本と世界 近世への転換 幕藩体制の確立	武士中心の世の中の状況と、欧 米との関係性と文化の流入につ いて考察し、幕藩体制の成立と日本 独自の政治や文化の発展の要因に ついて理解を深め、日本が近代に 急速に発展した要因を認識します。	・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用い た作業学習 ・宿題(復習プリント)	1 学期末考查
2 学期	8	幕藩体制の展開 社会の変化と幕府の対応 第 4 章 近現代の地域・日本 と世界	幕藩体制と武家社会の崩壊の要 因を理解するとともに、日本の近 代化の進展と、明治政府がどのよ うな国家形成を目指したかを考察 し、その後の日本と東アジアを含 む世界との関係性について理解を 深めます。	・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用い た作業学習 ・宿題(復習プリント)	2 学期中間考查
	9				
	10	国際関係の推移と近代産業の発展 第一次世界大戦と日本 軍部の台頭と戦争の長期化 日本の再建 経済の発展	二度の世界大戦に日本がどのよ うな立場で関わったか、そしてそ の後の世界で日本がどのような位 置付けとなったかを理解するとと もに、現代日本の現状と今後の課 について考察していきます。	・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用い た作業学習 ・宿題(復習プリント)	2 学期末考查
3 学期	1	経済大国とグローバル化 第 5 章 現代の日本の課題の探究	これまでの学習内容を踏まえ、 現代日本の課題と、世界との関係 性について考察を深めていきます。	・授業ファイルの提出 ・教科書や副教材を用い た作業学習 ・宿題(復習プリント)	学年末考查
	2				
	3				
評価方法等		<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の積極性や、日本史への知識・理解の状況によって評価します。 ・学校生活全体で、歴史的事象に基づく広い視野にたった適切な言動が取れるようになったかを評価します。 			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、それを自らの知識として定着させているかを重視します。 ・学習した事柄について、自分なりに整理・考察し、認識を深めているかを重視します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じて得た知識を、適切な方法で表現できているかを重視します。 ・地図や年表・写真などの資料を通じて、日本の歴史や人物に関する情報を読み取り、説明したり表現しようとするかを重視します。 ・学習した事柄について、公正な判断ができているかを重視します。
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地や人物の歴史を、自分との関わりの中で考えようとする意欲があるかを重視します。 ・日本の歴史に対する関心を高め、アジア諸地域や世界との関係性について自ら主体的・自律的に学び、理解しようとする態度が身についたかを重視します。

3 授業を受ける上での注意点

- ・授業に臨むにあたって、教科書の地図や写真などの資料を活用すると、より授業内容が身に付きます。
- ・授業中の教員やクラスメイトの話をよく聞き、メモを取ったり、そこから考える態度を身に付けましょう。

令和 7 年 度 (数 学) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	基礎数学	単位数	2 単位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	基礎数学 (川之江高等学校)			副 教 材 等	プリント

1 学習の到達目標

中学生までに学んだ数と式に関する基本的な知識について学習し、今後の高校数学を学ぶ上で基礎となる計算力を高めます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	1 章 数の計算 1 節 整数の計算 2 節 小数の計算	3 けたまでの整数、小数、分数の四則計算について学習します。また、計算プリントを用いて、計算力の定着を図ります。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期中間考查
	5	3 節 分数の計算			
	6 7	4 節 いろいろな計算 5 節 比と比の値 6 節 正の数・負の数の計算	整数・分数・小数が複合された計算や、負の数が含まれた四則計算の方法について学習します。また、計算プリントを用いて、計算力の定着を図ります。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期末考查
2 学期	8 9	2 章 文字の計算と方程式 1 節 文字の式	文字式の表し方や基本的な計算の方法について学習し、1 次方程式の解き方について学びます。また、計算プリントを用いて、計算力の定着を図ります。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期中間考查
	10	2 節 1 次方程式			
2 学期	11 12	3 節 式の計算 4 節 連立方程式 3 章 式の展開と因数分解 1 節 式の展開 2 節 因数分解	式の展開と因数分解の関係について学び、その解法について学習します。また、計算プリントを用いて、計算力の定着を図ります。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期末考查
	1 2 3	4 章 平方根 1 節 平方根 2 節 根号を含む式の計算 3 節 2 次方程式			
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度(授業プリント、課題、授業態度等)や、定期考查で個々の学習目標到達度を評価し、学習評価を行います。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3 授業を受ける上での注意点

高校数学を学習する上で必要な計算について学習する科目です。授業内容がわからない場合は、わからないままにせず、その都度質問をしましょう。時間の中での授業の内容の確認問題のプリントの提出で主体的に学習に取り組む態度を評価をします。

令和 7 年 度 (数 学) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	数学 I	単位数	2 単位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	新 高校の数学 I (数研出版)			副 教 材 等	プリント

1 学習の到達目標

- 1 数と式、2次関数について理解を深めます。
- 2 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばします。
- 3 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第 1 章 数と式 第 1 節 数と式の計算 1 計算の基本	整式に関する用語や基本法則を理解し、その加法・減法・乗法を学習します。さらに、公式などを利用して整式の展開や因数分解を能率よく計算できるように学習します。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期中間考查
	5	2 単項式と多項式 3 多項式と加法と減法 4 多項式の乗法			
	6	5 展開の公式 6 因数分解			
	7	7 展開, 因数分解の工夫	数を実数としてまとめ、数の体系について理解を深めます。さらに、平方根を含む式の計算について学習します。 不等式の意味とその性質について理解します。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期末考查
2 学期	8	8 根号を含む式の計算	不等式が、身近な事象について活用できることを学習します。また解の公式の活用方法と意義について理解を深めます。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期中間考查
	9	9 実数 第 2 節 1 次不等式			
	10	1 1 次不等式 2 不等式 3 不等式の解			
	11	第 2 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ 1 関数	1 次関数について復習し、いろいろな事象を表す関数について学びます。2 次関数のグラフを通して、関数の値の変化を考え、関数の最大値・最小値について学びます。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期末考查
	12	2 1 次関数のグラフ 3 2 次関数のグラフ (1)			
3 学期	1	4 2 次関数のグラフ (2)	2 次関数の一般形から基本形への変形 (平方完成) を習得し、最大値、最小値を求めます。応用問題にも対応できるように学習します。また 2 次関数と x 軸の位置関係から 2 次方程式・2 次不等式の解を求めます。	課題・提出物 ・演習プリント	学年末考查
	2	第 2 節 2 次関数の値の変化 1 2 次関数の最大値, 最小値			
	3	2 グラフと 2 次方程式 3 グラフと 2 次不等式			
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度(授業プリント、課題、授業態度等)や、定期考查で個々の学習目標到達度を評価し、学習評価を行います。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。

3 授業を受ける上での注意点

演習プリントは手順やそこで必要な公式等に確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。図やグラフは、ていねいに書くだけでなく、ポイントをチェックしておくことも理解を深めることとなります。時間の中での授業の内容の確認問題のプリントの提出で主体的に学習に取り組む態度を評価をします。

令和 7 年 度 (数 学) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	数学 I	単位数	2 単位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	新 高校の数学 I (数研出版)			副 教 材 等	プリント

1 学習の到達目標

- 1 三角比、集合と論証、データの分析率について理解を深めます。
- 2 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばします。
- 3 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第 2 節 2 次関数の値の変化 1 2 次関数の最大値, 最小値 2 グラフと 2 次方程式 3 グラフと 2 次不等式	2 次関数の最大値、最小値を求めます。また、2 次関数と x 軸の位置関係から 2 次方程式・2 次不等式の解を求めます。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期中間考查
	5	第 3 章 図形と計量 第 1 節 三角比	直角三角形の 2 辺の比、正弦、余弦、正接を学び、活用します。		
	6	1 直角三角形 2 三角比 3 三角比の利用	三角比の値のいずれか一つの値から他の三角比の値の求め方を学びます。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期末考查
	7	4 三角比の相互関係			
2 学期	8	5 鈍角の三角比	角を鈍角や 0° , 90° , 180° の場合まで拡張し、三角比を学びます。 平面図形や簡単な空間図形の計量を学びます。面積、辺の長さ、角の大きさなどを求めます。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期中間考查
	9	第 2 節 三角形への応用 1 正弦定理			
	10	2 余弦定理 3 三角形の面積			
3 学期	11	第 4 章 集合と命題 1 集合 2 命題と集合	ものの集まりについて、その表し方、用語、記号などを学びます。 命題やその真偽について学びます。必要条件、十分条件、逆、対偶についても学びます。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期末考查
	12	3 必要条件と十分条件			
3 学期	1	第 5 章 データの分析 1 データの整理 2 データの代表値 3 データの散らばり 4 データの相関 5 仮説検定の考え方	データの特徴をとらえやすくするために、度数分布表、ヒストグラムや代表値について学びます。 データの散らばりぐあいを示す四分位数や分散・標準偏差について学びます。 2 つの変量の間関係を表す散分図と相関関係や相関係数について学びます。	課題・提出物 ・演習プリント	学年末考查
	2				
	3				
	3				
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度(授業プリント、課題、授業態度等)や、定期考查で個々の学習目標到達度を評価し、学習評価を行います。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。

3 授業を受ける上での注意点

演習プリントは手順やそこで必要な公式等に確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。図やグラフは、ていねいに書くだけでなく、ポイントをチェックしておくことも理解を深めることとなります。時間の中での授業の内容の確認問題のプリントの提出で主体的に学習に取り組む態度を評価をします。

令和 7 年 度 (数 学) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	数学A	単位数	2 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	新 高校の数学A (数研出版)			副 教 材 等	プリント

1 学習の到達目標

- 1 図形の性質、整数の性質について理解を深めます。
- 2 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばします。
- 3 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 1 集合 2 集合の要素と個数	集合の表し方, 用語, 記号, 図を用いて理解し, 記号を使って表せるように学習します。順列の意味を理解し, 公式を用いて順列の総数を求め方を学習します。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期中間考查
	5	3 和の法則と積の個数 4 順列 5 順列の利用 6 重複順列			
1 学期	6	7 円順列 8 組合せ 9 組合せの利用	円順列, 組合せの意味を理解し, 総数の求め方を学習します。確率の意味を知り, 基本的な確率の求め方を学習します。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期末考查
	7	2 節 確率 1 確率の意味 2 確率の計算 3 独立な思考の確率			
2 学期	8	4 反復試行の確率	反復試行, 条件付き確率の意味を理解し, それぞれの求め方を学習します。中学校で学んだ図形の性質, 条件を利用して, 線分の長さや大きさの求め方を学習します。また, 重心・外心・内心の性質を学び, 線分の長さや大きさを求めます。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期中間考查
	9	5 条件つき確率			
2 学期	10	2 章 図形の性質 1 節 三角形の性質 1 三角形と角 2 三角形と比 3 三角形の重心・外心・内心 4 角の二等分線と線分の比	円周角の定理, 円周角の定理の逆を復習し, 基本の確認・定着を図り, 円に内接する四角形, 円と直線, 方べきの定理等について論理的に学習します。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期末考查
	11	2 節 円の性質 1 円周角の定理 2 円に内接する四角形 3 円と直線 4 接線と弦の作る角 5 方べきの定理 6 2つの円			
3 学期	1	3 節 作図 1 基本の作図 2 いろいろな作図	線分の垂直二等分線の作図, 垂線の作図および角の二等分線の作図を復習し, 平行線や分点の作図について学習します。空間における平行や垂直について復習・整理をし, 多面体について学習します。	課題・提出物 ・演習プリント	学年末考查
	2	4 節 空間図形 1 直線や平面の位置関係 2 多面体			
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度(授業プリント、課題、授業態度、出欠状況等)や、定期考查で個々の学習目標到達度を評価し、学習評価を行います。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3 授業を受ける上での注意点

演習プリントは手順やそこで必要な公式等に確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。図やグラフは、ていねいに書くだけでなく、ポイントをチェックしておくことも理解を深めることとなります。時間の中での授業の内容の確認問題のプリントの提出で主体的に学習に取り組む態度を評価をします。

令和 7 年 度 (数 学) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	数学B	単位数	2 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	新 高校の数学B (数研出版)			副 教 材 等	プリント

1 学習の到達目標

- 1 数列の性質、統計的な推測の性質について理解を深めます。
- 2 数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばします。
- 3 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第1章 数列 第1節 数列とその和 1 数列 2 等差数列	数列の概念や基本的な用語を学びます。 等差数列と等比数列について関心をもち、一般項を初項、公差、公比を使った表し方を学びます。 等差数列と等比数列の初項から第n項までの和の求めます。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期中間考查
	5	3 等比数列 4 複利法と等比数列 5 和の記号Σ 6 階差数列			
	6	第2節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式と一般項 2 数学的帰納法	階差数列から一般項や、数列の和から一般項を求めたりします。 数列の帰納的定義について理解し、漸化式を用いて表された数列の一般項の求める方を学びます。	課題・提出物 ・演習プリント	1 学期末考查
2 学期	8	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1 確率	標本調査の考え方を学びます。 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解します。 確率変数と確率分布について理解するとともに、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができるようにします。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期中間考查
	9	2 確率変数と確率分布 3 二項分布 4 確率密度関数 5 正規分布 6 二項分布と正規分布			
	10	第2節 統計的な推測 1 母集団と標本	正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解するとともに、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断します。	課題・提出物 ・演習プリント	2 学期末考查
	11	2 母平均の推定 3 仮説検定			
3 学期	1	2 母平均の推定 3 仮説検定			学年末考查
	2				
	3				
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度(授業プリント、課題、授業態度、出欠状況等)や、定期考查で個々の学習目標到達度を評価し、学習評価を行います。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

3 授業を受ける上での注意点

演習プリントは手順やそこで必要な公式等に確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。図やグラフは、ていねいに書くだけでなく、ポイントをチェックしておくことも理解を深めることとなります。時間の中での授業の内容の確認問題のプリントの提出で主体的に学習に取り組む態度を評価をします。

令和 7 年 度 (理) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	科学と人間生活	単位数	2 単位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 科学と人間生活 (啓林館)			副 教 材 等	学習プリント

1 学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付け、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。また、自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学 期	4	序章 科学技術の発展	科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。	学習プリント・ノート	1 学期中間 1 学期期末 考 査
	5	第 1 部 生命の科学 第 1 章 ヒトの生命現象	遺伝子のはたらき、視覚についての基本的なしくみを理解する。	学習プリント・ノート	
	6 7		血糖濃度の調節、免疫についての基本的なしくみを理解する。	学習プリント・ノート	
2 学 期	8 9	第 2 部 物質の科学 第 2 章 衣料と食品	身近な衣料材料の性質や用途、食品中のおもな成分の性質について理解する。	学習プリント・ノート	2 学期中間 2 学期期末 考 査
	10 11 12	第 3 部 光や熱の科学 第 2 章 熱の性質とその利用	熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について理解する。	学習プリント・ノート	
3 学 期	1 2 3	第 4 部 宇宙や地球の科学 第 2 章 自然景観と自然災害	身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、地域の地質や地形、気候などの特性や地球内部のエネルギーによる変動と関連づけて理解する。	学習プリント・ノート	学 年 末 考 査
評価方法等		学習活動への参加の仕方や態度 (授業プリント、課題、授業態度、出欠など) や、観察・実験への取り組み、レポートのまとめ方などを評価し、定期考查の成績を加味して学習評価を行う。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 授業を受ける上での注意点

毎日の授業を大切にし、観察・実験はその意義や目的をふまえて意欲的に参加しよう。また実験では注意事項をよく守り、事故のないようにしよう。

令和 7 年 度 (理) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	化学基礎	単位数	3 単位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 新化学基礎 (第一学習社)			副 教 材 等	学習プリント

1 学習の到達目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	序章 化学と人間生活	科目の導入として、化学への興味・関心を高める。	学習プリント・ノート	1 学期中間考查
	5	第 1 章 物質の構成 第 1 節 物質とその構成要素	身近な物質を取り上げ、実験における基本操作と方法を身につける、科学的に探究する。 原子の構造や元素の周期律を理解する。	学習プリント・ノート 学習プリント・ノート	
	6	第 2 節 化学結合	イオン結晶、共有結合や金属結合の結晶の性質を理解する。	学習プリント・ノート	
2 学期	7	第 2 章 物質の変化 第 1 節 物質と化学反応式	粒子の数にもとづく量の表し方である物質の概念を導入し、物質と質量、気体の体積との関係について理解する。	学習プリント・ノート	1 学期期末考查
	8	第 2 節 酸・塩基とその反応	化学反応式が、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。	学習プリント・ノート	2 学期中間考查
	9		酸と塩基の性質および中和反応について理解する。		
10		酸・塩基の中和反応において、水素イオン濃度やpH、塩の生成などについて理解する。	学習プリント・ノート	2 学期期末考查	
3 学期	11	第 3 節 酸化還元反応	中和滴定に関与する物質の量的関係について理解する。	学習プリント・ノート	学年末考查
	12		酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。	学習プリント・ノート	
	1				
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度（授業プリント、課題、授業態度、出欠など）や、観察・実験への取り組み、レポートのまとめ方などを評価し、定期考查の成績を加味して学習評価を行う。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3 授業を受ける上での注意点

毎日の授業を大切にし、観察・実験はその意義や目的をふまえて意欲的に参加しよう。また実験では注意事項をよく守り、事故のないようにしよう。

令和 7 年 度 (理) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	生物基礎	単位数	3 単位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 新生物基礎 (第一学習社)			副 教 材 等	学習プリント

1 学習の到達目標

細胞や代謝、遺伝や体内環境の維持、生態系など生物の特性についてしっかりと知識を身につけ、生物や生命現象について生物学的に探求する態度や能力を養うことを目標とする。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性	生物に見られる多様性や共通性を理解し、単細胞生物から進化・適応してきたことを学ぶ。	学習プリント・ノート	1 学期中間考查
	5	第2節 細胞とエネルギー	細胞の生命活動を担う細胞小器官の働きを理解する。	学習プリント・ノート	
	6	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA	形質は遺伝子の本体DNAによって受けつがれる。遺伝情報が複製され、形質が発現するまでの過程について学ぶ。	学習プリント・ノート	1 学期期末考查
7	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成	遺伝情報に従うタンパク質の合成のしくみを理解する。	学習プリント・ノート		
2 学期	8	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報の伝達	生物体が外部環境から様々な影響を受けながらの内部環境を維持できるしくみを持っていることを学ぶ。	学習プリント・ノート	2 学期中間考查
	9				
	10				
2 学期	11	第2節 免疫	ホルモンの働き、血糖濃度や体温の調節、血液の働きなどについて学ぶ。	学習プリント・ノート	2 学期期末考查
	12		病原体の進入を防いだり、体内から排除したりする生体防御のしくみについて学ぶ。	学習プリント・ノート	
3 学期	1	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 第2節 生態系とその保全	様々な環境に適応した地球上の植物はどう移り変わり、どう成り立っているかを学ぶ。 生物間や生物・環境の間での関係性を学び、多様な生物や環境を保全する取組を学ぶ。	学習プリント・ノート	学年末考查
	2			学習プリント・ノート	
	3			学習プリント・ノート	
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度（授業プリント、課題、授業態度、出欠など）や、観察・実験への取り組み、レポートのまとめ方などを評価し、定期考查の成績を加味して学習評価を行う。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。観察・実験を行うための基本操作を習得できているか。観察、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・事象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見いだすことができるか。探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。また生物の共通性と多様性を意識するなど科学的な見方や考え方を身に付けているか。観察、実験に互いに協力し、主体性をもって取り組んでいるか。

3 授業を受ける上での注意点

毎日の授業を大切にし、観察・実験はその意義や目的をふまえて意欲的に参加しよう。また、実験では注意事項をよく守り事故のないようにしよう。

令和7年度（理）科シラバス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	地学基礎	単位数	3 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 地学基礎 (第一学習社)			副教材等	学習プリント

1 学習の到達目標

地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	第1章 地球のすがた 第1節 地球の外観	地球の形と大きさを推定した方法、地球の内部構造などについて理解する。	学習プリント・ノート	1 学期中間考查
	5	第2節 プレーートの運動	プレートテクトニクスという考え方を学ぶ。	学習プリント・ノート	
	6	第2章 地球の活動 第1節 地震 第2節 火山活動	地震に関する基本事項、地震発生のしくみを理解する。 マグマ、火山、火成岩、地震などの関連性を理解する。	学習プリント・ノート 学習プリント・ノート	1 学期期末考查
7	第3章 大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支	大気圏の構成、太陽放射や地球放射について学ぶ。	学習プリント・ノート		
2 学期	8	第2節 大気と海水の運動	大気の循環、海水の循環などについて学ぶ。	学習プリント・ノート	2 学期中間考查
	9		第4章 宇宙と地球		
	10	第1節 宇宙と太陽の誕生	宇宙や太陽の誕生について学ぶ。		
	11	第2節 太陽系と地球の誕生	太陽系の構造、太陽系の誕生、惑星について学ぶ。	学習プリント・ノート	2 学期期末考查
第5章 生物の変遷と地球環境 第1節 地層と化石		地層の形成、堆積岩、化石について学ぶ。	学習プリント・ノート		
12	第2節 地球と生物の変遷	地質時代の特徴を学ぶ。	学習プリント・ノート	2 学期期末考查	
	第6章 地球の環境 第1節 地球環境の科学	地球温暖化、特にオゾン層の変化について学ぶ。	学習プリント・ノート		
3 学期	1	第2節 日本の自然環境	自然の恩恵とともに、季節による変化、特に気象災害や地震災害について学ぶ。	学習プリント・ノート	学年末考查
	2				
	3				
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度（授業プリント、課題、授業態度、出欠など）や、観察・実験への取り組み、レポートのまとめ方などを評価し、定期考查の成績を加味して学習評価を行う。 また、各学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	地学や地学現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。観察・実験を行うための基本操作を習得できているか。観察、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・事象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	地学や地学現象の中に問題を見いだすことができるか。探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連を図りながら地学や地学現象について関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。また科学的な見方や考え方を身に付けているか。観察、実験に互いに協力し、主体性をもって取り組んでいるか。

3 授業を受ける上での注意点

毎日の授業を大切にし、観察・実験はその意義や目的をふまえて意欲的に参加しよう。また、実験では注意事項をよく守り事故のないようにしよう。

令和 7 年 度 (保健体育) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	体 育	単位数	2 単位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	現代高等保健体育 (大修館書店)			副教材等	資料プリント

1 学習の到達目標

<p>(1) 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにします。</p> <p>(2) 体の調子を整え体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動が出来る資質や能力を育てます。</p>

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等							
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価方法など授業について理解します。 ・社会の変化に伴ってスポーツの重要性がより一層高まっていることを学習します。自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫できるようにします。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	1 学期中間 考查 (実施せず)						
	5	選択				体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて、課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を学習します。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 ・自己の能力に応じて、次の運動の技能を高めたり、ネット型の競技では相手の動きに応じた攻防を展開し練習や試合ができるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の課題も評価の対象とする。 ・ルールや審判法について調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	1 学期末 考查 (実施せず)			
	6	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール							体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームを通してたような楽しさや喜びを味わうとともに、作戦や状況に応じた技能を理解し仲間と連携しゲームを展開することを学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中の課題も評価の対象とする。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	学年末 考查 (実施せず)
	7											
2 学期	8	体づくり運動	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて、課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を学習します。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 ・自己の能力に応じて、次の運動の技能を高めたり、ネット型の競技では相手の動きに応じた攻防を展開し練習や試合ができるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の課題も評価の対象とする。 ・ルールや審判法について調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	2 学期中間 考查 (実施せず)						
	9	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動					体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームを通してたような楽しさや喜びを味わうとともに、作戦や状況に応じた技能を理解し仲間と連携しゲームを展開することを学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中の課題も評価の対象とする。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	2 学期末 考查 (実施せず)		
	10	選択				体 育 理 論					<ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームを通してたような楽しさや喜びを味わうとともに、作戦や状況に応じた技能を理解し仲間と連携しゲームを展開することを学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中の課題も評価の対象とする。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。
	11	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール ・陸上競技										
12												
評価方法等		出欠席、授業へ取り組む態度、服装、実技テストやルールの理解度など個人の目標への到達度、運動能力などを総合的に見て評価する。										

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	・技能、ルール、安全、理論に対する知識・理解を深めているか。運動の特性に応じた技能を高めているか。課題に対して、技能や運動の合理的な表現方法を身につけようと努力しているか。
思考・判断・表現	・個人やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考えているか。技能や安全面など、適切な状況判断ができるか。
主体的に学習に取り組む態度	・「体育」の授業に積極的に参加し、運動の楽しさや体を動かす喜びを体験し、自ら進んで運動しようとする向上心が見られるか。 ・協調性をもって、周囲と楽しく取り組もうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

<p>授業の開始のチャイムが鳴るまでに整列を完了して、授業がすぐ始められるようにします。必ず運動に適した服装で実技を行います。欠席をなくし、集中して授業に取り組み、ケガのないようにします。体調のすぐれない人は授業開始までに担当教員に連絡してください。</p>

令和 7 年 度 (保 健 体 育) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	体 育	単位数	2 単 位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	現代高等保健体育 (大修館書店)			副 教 材 等	資料プリント

1 学習の到達目標

<p>(1) 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにします。</p> <p>(2) 体の調子を整え体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動が出来る資質や能力を育てます。</p>

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元		学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考査範囲等				
1 学 期	4	オリエンテーション 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価方法など授業について理解します。 ・社会の変化に伴ってスポーツの重要性がより一層高まっていることを学習します。自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫できるようにします。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	1 学期中間考査 (実施せず)				
	5	選択				体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて、課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を学習します。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 ・自己の能力に応じて、次の運動の技能を高めたり、ネット型の競技では相手の動きに応じた攻防を展開し練習や試合ができるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の課題も評価の対象とする。 ・ルールや審判法について調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	1 学期末考査 (実施せず)	
	6	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール							体 育 理 論	2 学期中間考査 (実施せず)
	7									
2 学 期	8	体づくり運動	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームを通してたような楽しさや喜びを味わうとともに、作戦や状況に応じた技能を理解し仲間と連携しゲームを展開することを学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中の課題も評価の対象とする。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	学 年 末 考 査 (実施せず)				
	9	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動								
	10	選択								
	11	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール ・陸上競技								
3 学 期	12									
	1	選択	体 育 理 論							
	2	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール								
3										
評価方法等		出欠席、授業へ取り組む態度、服装、実技テストやルールの理解度など個人の目標への到達度、運動能力などを総合的に見て評価する。								

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	・技能、ルール、安全、理論に対する知識・理解を深めているか。運動の特性に応じた技能を高めているか。課題に対して、技能や運動の合理的な表現方法を身につけようと努力しているか。
思考・判断・表現	・個人やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考えているか。技能や安全面など、適切な状況判断ができるか。
主体的に学習に取り組む態度	・「体育」の授業に積極的に参加し、運動の楽しさや体を動かす喜びを体験し、自ら進んで運動しようとする向上心が見られるか。 ・協調性をもって、周囲と楽しく取り組もうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

<p>授業の開始のチャイムが鳴るまでに整列を完了して、授業がすぐ始められるようにします。必ず運動に適した服装で実技を行います。欠席をなくし、集中して授業に取り組み、ケガのないようにします。体調のすぐれない人は授業開始までに担当教員に連絡してください。</p>

令和 7 年 度 (保 健 体 育) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	体 育	単位数	3 単 位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	現代高等保健体育 (大修館書店)			副 教 材 等	資料プリント

1 学習の到達目標

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけていきます。
- (2) 体の調子をを整え体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動が出来る資質や能力を育てます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元		学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容、評価方法など授業について理解します。 ・社会の変化に伴ってスポーツの重要性がより一層高まっていることを学習します。自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫できるようにします。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	1 学期中間考查 (実施せず)
	5	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動				
	6	選択 ・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール				
	7					1 学期末考查 (実施せず)
2 学期	8	体づくり運動	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて、課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を学習します。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 ・自己の能力に応じて、次の運動の技能を高めたり、ネット型の競技では相手の動きに応じた攻防を展開し練習や試合ができるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の課題も評価の対象とする。 ・ルールや審判法について調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	2 学期中間考查 (実施せず)
	9	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動				
	10	選択 ・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール ・陸上競技				
	11					2 学期末考查 (実施せず)
12						
3 学期	1	選択 ・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール	体 育 理 論	<ul style="list-style-type: none"> ・練習やゲームを通してたような楽しさや喜びを味わうとともに、作戦や状況に応じた技能を理解し仲間と連携しゲームを展開することを学びます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中の課題も評価の対象とする。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。 	学年末考查 (実施せず)
	2					
	3					
評価方法等	出欠席、授業へ取り組む態度、服装、実技テストやルールの理解度など個人の目標への到達度、運動能力などを総合的に見て評価する。					

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技能、ルール、安全、理論に対する知識・理解を深めているか。運動の特性に応じた技能を高めているか。課題に対して、技能や運動の合理的な表現方法を身につけようと努力しているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・個人やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考えているか。技能や安全面など、適切な状況判断ができるか。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「体育」の授業に積極的に参加し、運動の楽しさや体を動かす喜びを体験し、自ら進んで運動しようとする向上心が見られるか。 ・協調性をもって、周囲と楽しく取り組もうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

授業の開始のチャイムが鳴るまでに整列を完了して、授業がすぐ始められるようにします。必ず運動に適した服装で実技を行います。欠席をなくし、集中して授業に取り組み、ケガのないようにします。体調のすぐれない人は授業開始までに担当教員に連絡してください。

令和 7 年 度 （ 保健体育 ） 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	体 育	単位数	2 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	現代高等保健体育 (大修館書店)			副教材等	資料プリント

1 学習の到達目標

- (1) 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにします。
- (2) 体の調子を整え体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動が出来る資質や能力を育てます。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元		学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	オリエンテーション 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	体 育 理 論	・学習の意義や内容、評価方法など授業について理解します。 ・社会の変化に伴ってスポーツの重要性がより一層高まっていることを学習します。自己の体力や生活に応じて体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的に工夫できるようにします。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。	・ルールについて調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。	1 学期中間考查 (実施せず)
	5	選択				1 学期末考查 (実施せず)
	6	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール				
	7					
2 学期	8	体づくり運動	体 育 理 論	・自己の能力に応じて、課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を学習します。 ・ネット型のゲームの特性を理解し作戦を立てゲームができるようにする。 ・自己の能力に応じて、次の運動の技能を高めたり、ネット型の競技では相手の動きに応じた攻防を展開し練習や試合ができるようにします。	・夏季休業中の課題も評価の対象とする。 ・ルールや審判法について調べる。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。	2 学期中間考查 (実施せず)
	9	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動				2 学期末考查 (実施せず)
	10	選択				
	11	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール ・陸上競技				
12						
3 学期	1	選択	体 育 理 論	・練習やゲームを通してたような楽しさや喜びを味わうとともに、作戦や状況に応じた技能を理解し仲間と連携しゲームを展開することを学びます。	・冬季休業中の課題も評価の対象とする。 ・レポートやプリントなどの課題を提出させる場合もある。	学年末考查 (実施せず)
	2	・卓球 ・バドミントン ・テニス ・バレーボール				
	3					
評価方法等	出欠席、授業へ取り組む態度、服装、実技テストやルールの理解度など個人の目標への到達度、運動能力などを総合的に見て評価する。					

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・技能、ルール、安全、理論に対する知識・理解を深めているか。運動の特性に応じた技能を高めているか。課題に対して、技能や運動の合理的な表現方法を身につけようと努力しているか。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・個人やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考えているか。技能や安全面など、適切な状況判断ができるか。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・「体育」の授業に積極的に参加し、運動の楽しさや体を動かす喜びを体験し、自ら進んで運動しようとする向上心が見られるか。 ・協調性をもって、周囲と楽しく取り組もうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

授業の開始のチャイムが鳴るまでに整列を完了して、授業がすぐ始められるようにします。必ず運動に適した服装で実技を行います。欠席をなくし、集中して授業に取り組み、ケガのないようにします。体調のすぐれない人は授業開始までに担当教員に連絡してください。

令和 7 年 度 (保健体育) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	保 健	単位数	1 単 位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	現代高等保健体育 (大修館書店)			副 教 材 等	保健体育ノート

1 学習の到達目標

- 1 生涯の各段階における健康課題について適切に対応し、適切に重要性を理解します。
- 2 社会生活における健康の保持増進には環境との関わりがあることを理解できるようにします。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等		
1 学期	4	3 単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康	生涯の各段階における健康課題に応じた自己の健康管理の必要性と保健・医療の制度及び地域の保健・医療機関を適切に活用することが重要なことを学習します。	プリント提出	1 学期中間考查 (実施せず)		
	5						
	6						
7					授業ノートの提出	1 学期末考查	
2 学期	8			3 単元 生涯を通じる健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを学習します。 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることや、環境と食品を健康に適したものにし安全を確保できるように、環境衛生活動や食品衛生活動が行われていることを学習します。	プリント提出	2 学期中間考查 (実施せず)
	9					プリント提出	
	10					プリント提出	
	11						
	12	授業ノートの提出	2 学期末考查				
3 学期	1	4 単元 健康を支える環境づくり 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、医療機関などを適切に活用することが必要であり、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効である。また、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であることを学習します。			授業ノートの提出	学年末考查
	2						
	3						
評価方法等	学習活動への参加の仕方や態度 (プリント、授業ノート、課題、態度、出席状況等) で個々の学習到達度を評価し、定期考查の成績等を加味して学期評価を行います。また各学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。						

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	健康・安全の意義について理解しているか。また現代社会と健康について、課題の解決に役立っているか。基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。
思考・判断・表現	個人の生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して科学的に思考しているか。また総合的にとらえることにより、適切な意思決定を行い選択すべき行動を判断できているか。
主体的に学習に取り組む態度	個人の生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持っているか。自ら健康で安全な生活を実践するために意欲的に学習に取り組もうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

授業の開始のチャイムが鳴るまでに、教材の準備を終わらせ、各自着席を完了し、授業が開始できるようにします。ノートは教科書から語句を探して記入するだけでなく、自分の考え等をフリースペースに書いておくと、後で見直したときに役に立ちます。ノート・プリント類はきちんと整理を行い定期的に提出します。

令和7年度（英語）科シラバス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3 単位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	All Aboard! English Communication I (東京書籍)			副教材等	授業用プリント

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば 1 必要な情報を読み取り、書き手や話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に捉えたりすることができる。 2 基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して話したり、書いて伝えることができる。
--

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	Warm-up 1-3 Pre-Lesson 1 Pre-Lesson 2 Communication I / 英文のしくみ1	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット、教室で使う表現など ・be動詞/自分の名前、性格、特徴を伝える ・一般動詞/日常の行動、好みを伝える。 ・自己紹介/文の構造 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント 	1 学期中間考查
	5	Lesson 1 Breakfast around the world Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形 ・世界の朝食について学ぶ。 ・進行形 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読/暗唱/言語活動 	
	6	Australia's Cute Quokkas 文法のまとめ1 Lesson 3	<ul style="list-style-type: none"> ・野生動物について学ぶ。 ・これまでのまとめ ・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント 	1 学期末考查
7	A Train Driver in Sanriku Communication II Let's Listen 1	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の意義について学ぶ。 ・道案内 ・必要情報を聞き、メモを取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読/暗唱/言語活動 		
2 学期	8	夏季休業中の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読/暗唱/言語活動 	2 学期中間考查
	9	Lesson 4 A Miracle Mirror	<ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞 ・海外の観光地の魅力を探る。 		
	10	Lesson 5 Learning from the Sea Let's Listen 2 英文のしくみ2 / 文法のまとめ2	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞 ・将来の夢について考える。 ・買い物での会話で必要情報を聞き取る。 ・文の構造・これまでのまとめ 		
2 学期	11	Reading 1 Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	<ul style="list-style-type: none"> ・Short Storiesの心情やユーモアを理解する。 ・受け身 ・好きな絵について英語で述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読/暗唱/言語活動 	2 学期末考查
	12	Lesson 7 A Diary of Hope Communication 3/英文のしくみ3/文法のまとめ3	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現 ・生きることの意味について考える。 ・乗換案内の表現・文の構造・これまでのまとめ 		
3 学期	1	Lesson 8 A Door to a New Life	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了 ・ロボットの可能性について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読/暗唱/言語活動 	学年末考查
	2	Lesson 9 Fighting plastic Pollution	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞を後ろから説明する分詞 ・ごみ問題について考える。 		
	3	Lesson 10 Pigs from across the Sea Reading 2 文法のまとめ4	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 ・国際交流について考える。 ・登場人物の気持ちを考えながら音読する。 ・これまでのまとめ 		
評価方法等	定期考查の成績に、授業プリントや課題の提出、出席状況、授業に対する意欲を評価に加え、学期評価をする。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているか。 本文で学んだ文の形、意味、用法を理解しているか。 自分の考えや、見たり聞いたりした情報を適切に表現する技能を身につけているか。
思考・判断・表現	基本的な語句や文を理解し、それを用いて情報や考え、気持ちなどを話したり、書いたり、伝え合ったりすることができるか。 授業で紹介される様々な文化や考え方、生活様式などを寛容な態度で受け止めて、異文化を理解しよとする態度を養うことができるか。
主体的に学習に取り組む態度	音読や会話練習で積極的に声を出して練習できているか。 聞いたり、読んだりしたことを活用しながら、相手の意見や考えを知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり、書いたり伝え合おうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

英語でのコミュニケーション活動には間違いを恐れずに、積極的に参加しましょう。 中学校英語の復習をしながら、英語学習の基本事項を定着させていきましょう。 配布されたプリントなどはファイルに挟み、整理しておきましょう。

令和 7 年 度 (英 語) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	論理・表現 I	単位数	3 単位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	VISTA Logic and Expression(三省堂)			副 教 材 等	授業用プリント

1 学習の到達目標

多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	【Unit 1】 Let's Start	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベット／語／文構造 接続詞／前置詞 ・現在形 (be動詞／一般動詞) ・過去形 (be動詞／一般動詞) ・現在進行形／過去進行形 ・日常生活／SNS／買い物 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読／暗唱／言語活動 	1 学期中間考查
	5	Lesson 1 Boulderling? How Nice! Lesson 2 Famous People Lesson 3 Aquarium Adventure Activity Station 1/Daily Conversation 1			
	6	Lesson 4 My Summer Plan Lesson 5 UFO Sightings Lesson 6 Homestay			
7	Activity Station 2 Daily Convesation 2				
2 学期	8	夏季休業中の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・比較 (比較級／最上級/as...as～) ・助動詞①(can/may) ・助動詞②(must/have to/should) ・学校生活／スピーチ・プレゼンテーション ・旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読／暗唱／言語活動 	2 学期中間考查
	9	Lesson 7			
	10	Lesson 8 Lesson 9 Activity Station 3 Daily Convesation 3			
3 学期	11	Lesson 10	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態 ・不定詞 (名詞的用法) / 動名詞 ・不定詞 (副詞的用法・形容詞的用法) ・学校生活／ディスカッション ・病気やけがをしたときの表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読／暗唱／言語活動 	2 学期末考查
	12	Lesson 11 Lesson 12 Activity Sation 4 Daily Conversation 4			
	1	Lesson 13			
3 学期	2	Lesson 14 Lesson 15	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞 (現在分詞・過去分詞) ・関係代名詞 ・仮定法 (If～/I wish～) ・学校生活／ディベート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・音読／暗唱／言語活動 	学年末考查
	3	Activity Station 5			
	評価方法等	定期考查の成績に、授業プリントや課題の提出、出席状況、授業に対する意欲を評価に加え、学期評価をする。			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているか。 本文で学んだ文の形、意味、用法を理解しているか。 自分の考えや、見たり聞いたりした情報を適切に表現する技能を身につけているか。
思考・判断・表現	基本的な語句や文を理解し、それを用いて情報や考え、気持ちなどを話したり、書いたり、伝え合ったりすることができるか。 授業で紹介される様々な文化や考え、生活様式などを寛容な態度で受け止めて、異文化を理解しようとする態度を養うことができるか。
主体的に学習に取り組む態度	音読や会話練習で積極的に声を出して練習できているか。 聞いたり、読んだりしたことを活用しながら、相手の意見や考えを知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり、書いたり伝え合おうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

英語でのコミュニケーション活動には間違いを恐れずに、積極的に参加しましょう。
テーマに関連した表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えましょう。
配布されたプリントなどはファイルに挟み、整理しておきましょう。

令和7年度（英語）科シラバス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3 単位	学 年	第 3 学 年
使用教科書 (発行所)	All Aboard! English Communication II (東京書籍)			副教材等	授業用プリント

1 学習の到達目標

1. 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。
2. 学んだ知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおいて、適切に表現したり、伝え合う力を養う。
3. 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	Pre-Lesson My Plans for This Year	<ul style="list-style-type: none"> ・今年やってみたいことを伝える ・to不定詞/助動詞will 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント (毎時間1枚程度) ・音読/暗唱 	1学期中間考查
	5	Lesson 1 A Colorful Island	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを通して海外の観光地について学ぶ。 ・関係代名詞what 		
	6	Lesson 2 With the Beatles	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えて人気のある人物について聞いたり読んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント (毎時間1枚程度) ・音読/暗唱 	1学期末考查
	7	Lesson 3 Wild Men	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの祭りについて学ぶ 		
7	Lesson 4 Little Hero	<ul style="list-style-type: none"> ・Itを用いた表現 ・ハチドリの紹介・間接疑問文 			
2 学期	8	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化について 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント (毎時間1枚程度) ・音読/暗唱 	2学期中間考查
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・to不定詞を含む表現 		
	10	Reading 1 Mujina	<ul style="list-style-type: none"> ・怪談を読み、登場人物の心情を読み取る。 		
	11	Lesson 6 Seeds for Future Generations	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統野菜について学ぶ。 ・動詞の目的語になるif節 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント (毎時間1枚程度) ・音読/暗唱 	2学期末考查
12	Lesson 7 Over the Wall	<ul style="list-style-type: none"> ・世界中で壁画を描く活動について ・関係副詞where, when 			
12	Lesson 8 Inspiration from Nature	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のデザインについて学ぶ。 ・知覚動詞 			
3 学期	1	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	<ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートをめぐる社会問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント (毎時間1枚程度) ・音読/暗唱 	学年末考查
2	Chocolate	<ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞 			
3	Lesson 10 Fighting Angel Reading 2 Bear's Pie	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイチンゲールの生涯 ・分詞構文 ・登場人物の気持ちを考える。 			
評価方法等	定期考查の成績に、授業プリントや課題の提出、出席状況、授業に対する意欲を評価に加え学期評価をする。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているか。 本文で学んだ文の形、意味、用法を理解しているか。 自分の考えや、見たり聞いたりした情報を適切に表現する技能を身につけているか。
思考・判断・表現	基本的な語句や文を理解し、それを用いて情報や考え、気持ちなどを話したり、書いたり、伝え合ったりすることができるか。 授業で紹介される様々な文化や考え、生活様式などを寛容な態度で受け止めて、異文化を理解しようとする態度を養うことができるか。
主体的に学習に取り組む態度	音読や会話練習で積極的に声を出して練習できているか。 聞いたり、読んだりしたことを活用しながら、相手の意見や考えを知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり、書いたり伝え合おうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

英語でのコミュニケーション活動には間違いを恐れずに、積極的に参加しましょう。
中学校英語の復習をしながら、英語学習の基本事項を定着させていきましょう。
配布されたプリントなどはファイルに挟み、整理しておきましょう。

令和 7 年 度 (英 語) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	論理・表現Ⅱ	単位数	2 単位	学 年	第 4 学 年
使用教科書 (発行所)	VISTA Logic and Expression II			副 教 材 等	授業用プリント

1 学習の到達目標

多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	Lesson 1 Guess Who?d	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活／スピーチ ・ 質問する／描写する ・ 社会生活／パンフレット／応募 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業プリント ・ 音読／暗唱／言語活動 	1 学期中間考查
	5	Lesson 2 Space Travel Daily Conversation I Activity Lesson 1			
	6	Lesson 3 Where is the Post Office?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活／看板／道案内・対話 ・ 場所行き方をたずねる／位置・方向を示す ・ 日常生活／パンフレット・ポスター ・ 具体的に説明を加える ・ 日常生活／旅行／対話 ・ 学校生活／スピーチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業プリント ・ 音読／暗唱／言語活動 	
7	Lesson 4 Wonderful World Daily Conversation 2 Activity Lesson 2				
2 学期	8	夏季休業中の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場での活動／掲示板 ・ 社会生活／ホームページ ・ 学校生活／プレゼンテーション ・ 数量を表す／順序・経過を表す ・ ホテル・旅行案内書・美術館での表現 ・ 部屋の配置／対比する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業プリント ・ 音読／暗唱／言語活動 	2 学期中間考查
	9	Lesson 5 Job Search			
	10	Lesson 6 New Type Robots! Activity Lesson 3 Lesson 7 Enjoy Japanese Foods Daily Conversation3 Lesson 8 Looking for an Apartment			
3 学期	11	Special Activity 1 Lesson 9 Ideas from Nature	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活／対話 ・ 名称を表す／理由を述べる ・ 社会生活／記事 ・ 出典・引用を示す ・ 社会生活／原稿 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業プリント ・ 音読／暗唱／言語活動 	2 学期末考查
	12	Lesson 10 Let's Learn about SDGs!			
3 学期	1	Special Activity 2 Activity Lesson 4 Activity Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活／対話 ・ 学校生活／ディスカッション ・ 学校生活／ディベート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業プリント ・ 音読／暗唱／言語活動 	学年末考查
	2				
	3				
評価方法等	定期考查の成績に、授業プリントや課題の提出、出席状況、授業に対する意欲を評価に加え、学期評価をする。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	本文の内容について読んだり、聞いたりしたことを理解しているか。 本文で学んだ文の形、意味、用法を理解しているか。 自分の考えや、見たり聞いたりした情報を適切に表現する技能を身につけているか。
思考・判断・表現	基本的な語句や文を理解し、それを用いて情報や考え、気持ちなどを話したり、書いたり、伝え合ったりすることができるか。 授業で紹介される様々な文化や考え、生活様式などを寛容な態度で受け止めて、異文化を理解しようとする態度を養うことができるか。
主体的に学習に取り組む態度	音読や会話練習で積極的に声を出して練習できているか。 聞いたり、読んだりしたことを活用しながら、相手の意見や考えを知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり、書いたり伝え合おうとしているか。

3 授業を受ける上での注意点

英語でのコミュニケーション活動には間違いを恐れずに、積極的に参加しましょう。
テーマに関連した表現を使って、自分の考えや気持ちを伝えましょう。
配布されたプリントなどはファイルに挟み、整理しておきましょう。

令和 7 年 度 (芸術) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	美術 I	単位数	2 単 位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	高校生の美術 1 (日本文教出版)			副 教 材 等	

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指します。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考査範囲等
1 学 期	4	美術とは何か?	「眠れるジプシー女」を鑑賞し、感じたことや考えたことを発表し合ったり、教科書に掲載された三つの問や高等学校で学ぶ美術について考えたりします。	ワークシート	
	5	身近なものを描く	教科書掲載作品などから工夫を読み取り、モチーフをしっかりと観察して形体と色などの特徴を捉えて、表現方法を工夫して描けるようにします。	制作前ワークシート 作品 制作後ワークシート	
	6	視点と表し方	ホックニーの写真を鑑賞し、表現されている情景を理解し不自然な点などを発表し合ったり、同じような見方で他の作品も鑑賞したりして、作者の意図やどのように画面が構成されているかを考え、説明できるようにします。	ワークシート	
2 学 期	7	想像を形に	教科書掲載作品などから工夫を読み取り、不思議な世界を表すためにコラージュの特性や効果を生かして不思議な世界のよさや美しさを考え、想像の世界を表現できるようにします。	制作前ワークシート 作品 制作後ワークシート	
	8	デザインの世界 ポスターで伝える	目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められるようにします。	ワークシート	
	9		ポスターの役割と機能について考え話し合い、人に伝えたいメッセージに関して構想を練り、ポスターを完成させます。	制作前ワークシート 作品 制作後ワークシート	
10 11 12					
3 学 期	1	生物を空想して表す	教科書の参考作品を鑑賞し、作者が創造した生きものや能力、生息場所など独自性や表現の工夫について読み取り、想像した動物を描きます。	制作前ワークシート 作品 制作後ワークシート	
2	3				
評価方法等		各学期の評価は、授業態度やワークシートの内容、作品を評価し、総合的に行います。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均して行います。			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

3 授業を受ける上での注意点

制作に必要な題材やタブレット、教科書を忘れないようにしましょう。2時間つづきの授業のため、忘れてしまうと2時間分の制作ができなくなってしまいます。作品制作に加えて鑑賞活動についても同様に評価しています。じっくりと作品を鑑賞し、自分の思いを丁寧に言葉で表現しましょう。

令和 7 年 度 (家 庭) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	家庭基礎	単位数	2 単 位	学 年	第 2 学 年
使用教科書 (発行所)	未来へつなぐ 家庭基礎365 (教育図書)			副 教 材 等	自作教材プリント

1 学習の到達目標

- 心豊かな生活を目指すために必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付けます。
- 実習や体験的な学習を通して、生きる力や相手を尊重することの大切さを認識します。
- ホームプロジェクトを通して、問題解決能力や実践的態度を養います。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学期	4	A編第1章 生涯の生活設計1 第2章 青年期の自立と家族・家庭	1 あなたの将来、どうする？ 1 自立への一歩を踏み出そう 2 家族・家庭って何？ 3 将来の自分と家庭を想像する	プリント整理（配布されたプリントをファイルにとじ、板書事項をしっかりと書いておく）	1 学期末考查
	5	第4章 高齢期の生活と福祉 第5章 共生社会と福祉	1 高齢期ってどういう時期？ 2 高齢化する日本を生きる 1 共生って何だろう？		
	6	第3章 子どもの生活と保育 ホームプロジェクトに取り組もう！ 学校家庭クラブ活動	2 ノーマライゼーションとは 1 子どもはどう生まれ育つ？ 2 子どもとどうかかわろう？ 3 これからの子育てとは？		
	7				
2 学期	8	B編第3章 住生活と住環境	1 どのような家に住みたい？ 2 安全に住もう 3 快適に住もう	プリント整理（配布されたプリントをファイルにとじ、板書事項をしっかりと書いておく）	2 学期末考查
	9		4 住まいの課題と未来の暮らし		
	10	第1章 食生活と健康	1 なぜごはんを食べるの？ 2 私たちは何を食べているの？ 3 安全に食べよう		
	11		4 健康に食べよう 5 おいしく食べよう 6 これからも食事を楽しむために		
12					
3 学期	1	C編第1章 生活における経済の計画 第2章 消費生活と意思決定	1 将来に向けて家計を考えよう 1 何をどうやって買う？ 2 かしこい消費者になろう	プリント整理（配布されたプリントをファイルにとじ、板書事項をしっかりと書いておく）	学年末考查
	2	第3章 持続可能なライフスタイルと環境	1 未来の地球環境は大丈夫？ 2 私たちにできることは何だろう？		
	3	B編第2章 衣生活と健康	1 衣類の役割って何だろう？ 2 衣類はどうやってつくられている？ 3 衣服の計画・管理を知ろう 4 今後の衣生活を考えよう		
		生涯の生活設計2	1 自分の人生を豊かにしよう		
評価方法等	授業への参加態度(遅刻・欠課・早退や授業態度等)、提出物(作品・プリント)と各学期の定期考查の成績により、一人ひとりの到達度を評価する。学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行う。				

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的な知識や技術を身に付けている。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、その解決のために論理的に表現するなどして課題解決能力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 授業を受ける上での注意点

- 知識を習得し、活用する能力を身につけるために継続することが大切です。遅刻、忘れ物等がないようにしましょう。
- 授業中は学習に集中し、私語は慎みましょう。
- 実習には真摯に取り組み、必ず提出期限を守りましょう。

令和 7 年 度 (情 報) 科 シ ラ バ ス

愛媛県立川之江高等学校定時制課程

科 目 名	情報 I	単位数	2 単 位	学 年	第 1 学 年
使用教科書 (発行所)	高等学校 情報 I (第一学習社)			副 教 材 等	自作教材プリント

1 学習の到達目標

- 1 教材及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養う。
- 2 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 学習計画及び評価について

(1) 学習計画と評価方法

学 期	月	単 元	学習内容及びねらい	課題・提出物等 学習の留意点	考查範囲等
1 学 期	4	PCに慣れるために	学習内容の確認とOA教室の使用についての説明をきき、理解する。Wordに慣れるため、検定の速度問題を練習する。21世紀は情報化社会であると言われる。身の回りにおける「情報」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの配布 ・授業プリントの整理 ・学習内容のファイル 	1 学期中間考查 実施しない
	5	第 1 章 情報の活用と表現 1 情報とその活用 2 情報の表現と伝達			
1 学 期	6	第 2 章 情報通信ネットワーク とコミュニケーション	様々な形式の情報が私たちのまわりに存在する。それらをデジタル化することで、コンピュータで統合して扱うことができることを学び、思考する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの配布 ・授業プリントの整理 ・学習内容のファイル 	1 学期末考查
	7	1 コミュニケーション手段の発達			
2 学 期	8	2 情報通信ネットワークのしくみ 3 ネットワークコミュニケーション	日常生活で様々な情報を利用して生活している。問題解決の方法や情報の伝達について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの配布 ・授業プリントの整理 ・学習内容のファイル 	2 学期中間考查 実施しない
	9				
	10				
2 学 期	11	第 3 章 情報社会のしくみと安全性 1 情報システム 2 情報社会の法と個人の責任 3 情報社会と安全性	情報の収集・発信の方法とその仕組みについて考える。また情報の収集・発信に関する問題点についても考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの配布 ・授業プリントの整理 ・学習内容のファイル 	2 学期末考查
	12				
	12				
3 学 期	1	第 4 章 情報社会と問題解決 1 情報化の光と影 2 情報技術と人間 3 問題とその解決	情報化が社会にもたらす利点と問題点について、具体的に考え、賢い対応ができるようになるための知識や技術を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントの配布 ・授業プリントの整理 ・学習内容のファイル 	学年末考查
	2				
	3				
評価方法等		学習活動への参加の仕方や態度(授業プリント<ファイル>、授業態度、出欠等)や、実習での個々の学習目標到達度を評価し、定期考查の成績等を加味して、学期評価を行う。また、各学期の成績を統合し、年間の学習成績とする。			

(2) 評価の観点とその内容

知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

3 授業を受ける上での注意点

- ・授業を受ける前に、教科書を読み、わかるところとわからないところを整理しておく。
- ・実習の授業では、時間内に課題が提出できるよう、まじめに取り組む。
- ・授業の開始のチャイムが鳴るまでに速やかに移動し、教科書、授業プリントファイル、筆記用具の準備をして着席しておく。